

ヤマハグループ環境貢献活動

ヤマハ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
☎053-460-2845 http://jp.yamaha.com/about_yamaha/csr/?ddm

ヤマハグループでは、1973年に環境庁（現環境省）が環境保全の呼びかけをスタートして以来、40年以上にわたり毎年6月の「環境月間」において、「地域クリーン作戦」をはじめとした環境保全活動の普及・啓発に関する取り組みを、労使共催で継続実施しています。近年では6月のみにとどまらず、従業員の家庭での啓蒙活動や植林活動など、年間を通じた取り組みを行い、社内外での環境貢献活動の定着化を図っています。



地球の未来をトレーにのせて 『トレー to トレー』 & 『ボトル to トレー』

エフピコ

〒163-6036 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号新宿オークタワー 36 F
☎03-5325-7809 <http://www.fpc.jp/>

自社で製造・販売するプラスチック製食品トレーを、消費者、小売店、包材問屋、エフピコの四者一体の協働体制で、配送の帰り便を利用した回収・リサイクルのシステム「トレー to トレー」を1990年に構築。自社リサイクル工場で原料まで再生し、食品トレーとしてエコマーク認定を受け市場に流通させ、2010年からは廃PETボトルを再び透明容器に再生する「ボトル to トレー」を構築しました。



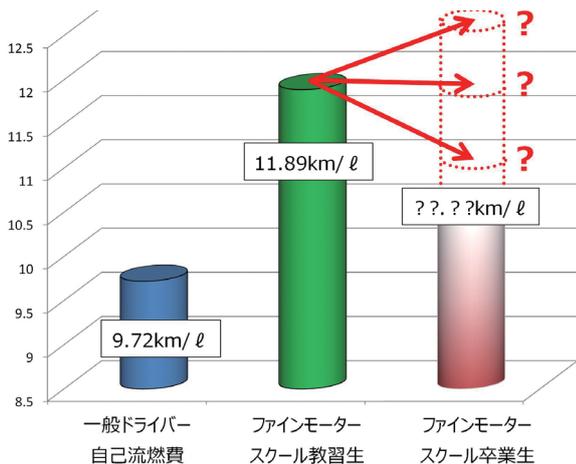
卒業生燃費追跡調査 (SNT) プロジェクト

～日本初、教習所卒業生のエコドライブ定着率と燃費向上状況を調査～

ファインモータースクール

〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町 2-322-3
☎048-641-7185 <http://www.fine-motorschool.co.jp>

このプロジェクトは、教習生が運転免許取得時にエコドライブを身につけることの効果を検証するもので、2014年6月29日に開始しました。在校時に計測した燃費や環境意識が免許取得後に比べて、どのように変化しているか、どの程度エコドライブを継続して実践できているか、教習所卒業後6ヶ月から2年を経て、エコドライブの知識や技術の定着率がどのように変化するかを独自に調査しています。



建設作業所におけるCO₂排出量削減活動 (CO₂ゼロアクション、エコモデルプロジェクト)

大成建設

〒163-0606 東京都新宿区西新宿 1-25-1
☎03-5381-5008 <http://www.taisei.co.jp/>

「人がいきいきとする環境を創造する」というグループ理念の下、低炭素社会実現を目指す当社では、全国約700の全作業所を対象とする「CO₂ゼロアクション」活動、その中から選定した約30作業所を対象とする「エコモデルプロジェクト」活動に取り組んでおり、専門工事業者とも連携し、2011年の活動開始以降、施工時CO₂総排出量目標「1990年比40%削減」を3年連続達成。2014年度より海外への展開も開始しました。



ファッション衣料専門店が行うエシカルの取り組み

イオンリテール SELF+SERVICE 事業部

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-4 イオンタワー ANNEX8階
☎043-212-6183 <http://www.self-service-jp.com/>

全国 222 店舗展開のファッション衣料専門店チェーン。エシカル素材の代表とも言える、オーガニックコットンやテンセルを用いた衣料品を中心にナチュラル系ファッションを販売、再生可能な天然資源を有効活用しています。更に全アパレル商品をカーボンオフセット対象にし二酸化炭素のオフセットをしています。また販売した商品は店頭で回収リサイクルし、一部再資源化を行うなど低炭素、循環型社会の構築に貢献しています。



サンデンフォレスト・赤城事業所における自然環境の創造的保全と地域貢献の取組

サンデン

〒110-8555 東京都台東区台東1-31-7
☎03-3833-1535 <http://www.sandenforest.com/>

「環境と産業の矛盾なき共存」というコンセプトのもと、群馬県赤城山南麓において、大規模な「近自然工法」を取り入れた事業用地造成を行って2002年に開設した「サンデンフォレスト・赤城事業所」における、森林保護・育成、生物多様性の回復・保全、自然環境に配慮した生産活動の取組と、地域連携を重視し、「サンデンフォレスト」を積極的に活用した地域における環境活動・環境教育推進への取組、およびそれらの情報発信をしています。



世界初の捨電システム「Lorentz-MG」による省エネ・省電力化

Tempodas

〒107-0062 東京都港区南青山6-12-1 TTS南青山ビル3階
☎03-5766-4110 <http://tempodas.jp/>

水を消費する場合、その量を目で見て蛇口を自分で調節することが出来ますが、これが電気の場合、電気量を目で見て、適正に調節することは可能でしょうか？私共は、ムダな電気 (= 捨電) に着目し、その「捨電」への対応製品 Lorentz-MG を開発・普及しております。また、製品の開発・普及を通じ、二酸化炭素の排出・電気エネルギーに関する啓蒙活動を国内のみならず、海外にも向けて発信していこうと日々取組んでおります。



鹿児島空港のエコ活動

鹿児島空港ビルディング

〒899-6494 鹿児島県霧島市溝辺町麓822番地
☎0995-58-2110 <http://www.koj-ab.co.jp/>

空の玄関口である空港から、食品残差削減、節電によるCO₂削減、社内外へのエコ啓発活動など、中長期的かつ継続的に以下のような多岐にわたる活動を展開しています。

- ①食品残渣リサイクル ②電気自動車の導入 ③太陽光発電設備の設置 ④ターミナルビル空調温度の設定 ⑤展望デッキの屋上緑化 ⑥エスカレーターの自動運転 ⑦照明の削減 ⑧LEDの導入 ⑨カーボンオフセットの導入 ⑩セミナーの開催 ⑪エコキャップ寄付 ⑫社内外での啓発活動

